

2020年4月2日

経済産業省

梶山 弘志 様

日本共産党福島県委員会

委員長 町田 和史

日本共産党福島県議会議員団

団 長 神山 悦子

副 団 長 宮川えみ子

幹 事 長 宮本しづえ

副幹事長 大橋 沙織

政調会長 吉田 英策

福島第一原発の汚染水取扱いに係る公聴会に関する要請

東京電力は、汚染水の保管タンクが、現状のままでは2022年夏ごろに満杯になるとの見通しを示し、政府の小委員会は今年2月、汚染水の処分方法について「海洋放出が現実的選択肢」との報告書を公表、これに基づき政府は4月6日福島市において、汚染水の手扱いに関する公聴会を開催すると発表しました。

国はトリチウムだけを問題にしようとしています、タンクに保管されているアルプス処理後の汚染水の約7割に、基準値を超える放射性核種が残っていることはすでに明らかになっています。二次処理でトリチウム以外の放射性核種を基準値以下にするとしていますが、これらの核種の除去について県民的な議論は行われておらず、基準値以下ならよしとする合意も得られていません。茨城県知事は、政府小委員会の公表を受け「これまでの関係者の努力をおもんばかりことなく、結論ありきの取りまとめを行うことは容認できない」と述べています。また県内でも避難地域の浪江町では反対の決議が挙がっており、広野町、南相馬市の議会でも反対の意見が多数を占めました。

国は、漁業者をはじめ県民・国民からの多数の声である「海洋放出はやめ、当面地上保管すべき」を真摯に受け止め、小委員会の報告書をもって結論ありことしないよう求めるものです。

よって、以下申し入れます。

記

- 1、世論調査でも県民・国民の多くが汚染水の「海洋放出」に反対していることを踏まえ、当面タンク保管を継続するよう東京電力に求めるとともに、国が責任をもってトリチウムを含むあらゆる核種の除去など根本解決に世界の英知を結集すること。
- 2、4月6日の公聴会およびその後の書面による意見公募をもって、結論を出すことはせず、引き続き広く県民・国民が意見を述べ、傍聴も可能な公聴会を開催すること。
- 3、新型コロナウイルス感染症が全国的に広がっている中、この時期にこのようなやり方で拙速に開催すること自体、県民の理解が得られるものではない。今からでも公聴会を延期すること。

以上

2020年4月2日

福島県知事

内堀 雅雄 様

日本共産党福島県委員会

委員長 町田 和史

日本共産党福島県議会議員団

団 長 神山 悦子

副 団 長 宮川えみ子

幹 事 長 宮本しづえ

副幹事長 大橋 沙織

政調会長 吉田 英策

福島第一原発の汚染水取扱いに係る公聴会に関する申し入れ

東京電力は、汚染水の保管タンクが、現状のままでは2022年夏ごろに満杯になるとの見通しを示し、政府の小委員会は今年2月、汚染水の処分方法について「海洋放出が現実的選択肢」との報告書を公表、これに基づき政府は4月6日福島市において、汚染水の手取扱いに関する公聴会を開催すると発表しました。

国はトリチウムだけを問題にしようとしています、タンクに保管されているアルプス処理後の汚染水の約7割に、基準値を超える放射性核種が残っていることはすでに明らかになっています。二次処理でトリチウム以外の放射性核種を基準値以下にするとしていますが、これらの核種の除去について県民的な議論は行われておらず、基準値以下ならよしとする合意も得られていません。茨城県知事は、政府小委員会の公表を受け「これまでの関係者の努力をおもんばかることなく、結論ありきの取りまとめを行うことは容認できない」と述べています。また県内でも避難地域の浪江町では反対の決議が挙がっており、広野町、南相馬市の議会でも反対の意見が多数を占めました。

県は、「関係者の意見を丁寧に聴き、慎重に対応方針を検討するよう求める」と述べていますが、汚染水の海洋放出による社会的影響は計り知れず、海洋放出やめよとの漁業関係者をはじめ多数の県民の声に寄り添った意見陳述すべきです。よって、以下申し入れます。

記

- 1、世論調査でも県民の多くが汚染水の「海洋放出」に反対していることを踏まえ、県は4月6日開催予定の公聴会の場において、汚染水は「海洋放出すべきでない」との立場を明確に表明すること。またタンク保管を継続し、「海洋放出」はしないようあらためて国および東京電力に求めること。
- 2、4月6日の公聴会およびその後の書面による意見公募をもって、結論を出すことはしないこと。引き続き広く県民が意見を述べ、傍聴も可能な公聴会を開催するよう国に求めること。
- 3、新型コロナウイルス感染症が全国的に広がっている中、この時期にこのようなやり方で拙速に開催すること自体、県民の理解が得られるものではない。今からでも公聴会を延期するよう国に求めること。

以上